

10月31日、ウクライナ地方議会及び自治体首長選挙

A. 主な動き

1. 内政

地方議会及び自治体首長選挙に向けた動き

- ・25日、ティモシェンコ前首相は、治安機関によって地方選挙における不正の多くが隠蔽されていると発言、「バチキフシナ」党と名乗る偽の機関が登録されているキエフ州、リヴィウ州及びテルノーポリ市の選挙の成立を認めない旨発表。
- ・26日、ヤヌコーヴィチ大統領は、地方選挙に監視員を派遣する外交団代表と会談、選挙準備及び実施の過程において発生しうる技術的失敗は選挙法の不十分さによるところが大きく、選挙終了後に国外の専門家と共に選挙に関する諸法律の改正に取り組む予定である旨発言。
- ・26日、ティモシェンコ前首相は、ハリコフ州、フメリニツキー州及びイワノ・フランクフスク州等において不正に投票用紙が用意されていると指摘。
- ・27日、アザロフ首相は、選挙準備において発生したとされる違反については裁判所において適正に手続が行われており、31日の投票には影響することはないと発言。
- ・27日、「バチキフシナ」党幹部は、OSCE/ODIHR選挙監視団代表と会談、リヴィウ州の選挙準備過程における違反等につき協議。

31日、地方議会及び自治体首長選挙の実施

- ・ウクライナ全土の約3万2,000の投票所にて投票を実施。
- ・シャボヴァル中央選挙管理委員会委員長は、31日18時現在中央選挙管理委員会に重大な選挙違反は報告されていない、全ての地方選挙管理委員会は11月5日までに公式結果を発表する必要がある旨発言。
- ・アザロフ首相は、選挙は完全に民主的に実施され、今日の最もセンセーショナルな事件はセンセーショナルな事件が起こらなかったことである旨発言。
- ・トルチャーノフ「バチキフシナ」党副代表は、今回の選挙を公正な選挙と認めることは出来ず、不正が行われた事実の調査のために最高会議における臨時調査委員会の設置を要求する旨発言。

・出口調査による各党の全国平均得票率

[GFK社(「統一センター」党発注)]

地域党:36.2%、「バチキフシナ」党:13.1%、「変化の前線」:6.8%、共産党:5.9%、「スヴォボーダ」運動:5.1%、「強いウクライナ」:4.3%、「我々のウクライナ」:2.3% 等

・調査は31日8時から17時(一部19時)にかけて約4万3,000名を対象にウクライナ全国の投票所において実施。

その他

・26日、ラヴリノヴィチ法相は、2004年憲法失効に伴った32の法律への改正及び2の法律の再採択が完了し、各法律を1996年憲法に適合させるための作業は終了したと発言。

・26日、ティモシェンコ前首相は、チェコで逮捕されたダニリシン前経済相の政治亡命としての同地滞在許可をチェコ政府に要請。27日、ダニリシン前経済相は、容疑は全て根拠の無いものであるとし、法に則った捜査を行うようヤヌコーヴィチ大統領に要求。

世論調査

[キエフ国際社会学研究所]

- ・10月中旬に最高会議選挙が実施の場合の政党支持率
地域党:42.5%、BYT:14.8%、「強いウクライナ」:12.1%、「変化の前線」:7.9%、共産党:5.1%、「スヴォボーダ」運動:3.8%、ブロック「ヴィタリー・クリチコ」:3.4%
- ・次の日曜日に大統領選挙が実施された場合の支持率
ヤヌコーヴィチ大統領:44.9%、ティモシェンコ前首相:15.0%、チギブコ副首相:12.7%、ヤツェニューク「変化の前線」代表:8.0%
- ・調査は10月11日から10月20日にかけて2,038名の成人を対象に実施。標準誤差は2.3%以内。

2. 経済

マクロ経済

- ・26日、中央銀行は、1-9月期のGDP成長率を5%程度と試算、10%強の工業生産高の成長、過去9ヶ月間で給与額が9.6%上昇したことによる内需拡大等が主な要因と発表。
- ・27日、中央銀行は、本年1-10月期オフショアへの資金の流出額を1,700万ドルと発表、ティモシェンコ「バチキフシナ」党代表が発表した182億ドルという額を否定。
- ・27日、財務省は、ウクライナの9月末時点の対外債務額は前月末比12.4%増の218億3,230万ドル、国内債務は同3.6%の減の1,289億グリブナと発表。
- ・28日、中央銀行は、本年第3四半期におけるGDP成長率を4%と予測。
- ・28日、中央銀行は、不良債権の割合は11.6%であり、同割合を40~50%とする評価は間違っていると発表。

金融・財政

- ・25日、ヤロシェンコ財務相は、2011年度のVAT還付金の見積額は350億グリブナ、2011年1月1日よりVATの自動還付が実施されることを期待する旨発言。
- ・27日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ストロスカーンIMF専務理事と電話会談、IMFとウクライナの協力関係は建設的なも

のであるとの見解で一致。

農業

・23日、プリシャジュニク農業政策相は、穀物不足によりウクライナの食糧安全保障が脅かされる場合、本年12月31日までを期限として導入した穀物輸出割当を延長する予定と発言。

・27日、アザーロフ首相は、既に港にある輸出用穀物については、輸出割当の対象外とすることを認める予定と発言。

・27日、アザーロフ首相は、欧州委員会からウクライナ政府に宛てた書簡では、同委員会はウクライナの穀物輸出割当を妥当と判断するが、透明な割当配分制度を早期に設けるよう要請していると説明。

・28日、プリシャジュニク農業政策相は、200万トンのトウモロコシ及び10万トンの砂糖をロシアに供給することで事前合意したと発言。また、トウモロコシの輸出は穀物輸出割当の対象外となると説明。

・29日、ウクライナ農業連合は、プリシャジュニク農業政策相の発言を引用して、政府が10月29日より既に港にある穀物の輸出を許可したと発表。

ウクライナ・露国家間経済協力委員会

・28日、国営企業アントノフ社と露の航空機建設企業連合がJV設立に合意。両者が50%ずつ出資。

・28日、コレースニコフ副首相とマントウロフ露産業貿易次官は、ウクライナと露が造船業において協力関係を構築するという合意文書に署名。

ガス問題

・28日、アザーロフ首相は、2011年第1四半期のガス価格は230～235米ドルが適当と発言。

・28日、ナフトガスは、10月分の対露天然ガス代金が約10億米ドルになる見込みと発表。

その他

・27日、露TVEL社と国営「核燃料」会社は、ウクライナ国内でVVER-1000型の原子炉に対する核燃料を製造する、出資50%ずつのJV企業設立に合意。

3 . 外政

▼25日、EU外務理事会の開催(於ルクセンブルグ)

・EU外務理事会は、「東方パートナーシップ」に関する結論文書を採択。

▼25日、ハーパー加首相の来訪

・ハーパー加首相は、ヤヌコーヴィチ大統領と会談、二国間関係等につき協議、ティモシェンコ前首相と会談した他、リヴィウにてロンツコホ通り博物館を見学、ウクライナ・カトリック大学にて講演。

・ヤヌコーヴィチ大統領とハーパー加首相は、共同記者会見において両国間の自由貿易圏に関する次回協議が12月13日に実施予定と発表。

▼25～26日、グリシチェンコ外相のブラッセル訪問

・グリシチェンコ外相は、アシュトンEU上級代表及びフィーレEU委員らと会談、ウクライナ・EUサミットの準備状況、ウクライナの地方選挙等につき協議。グリシチェンコ外相は、ウクライナ・EUサミットの成果文書として査証廃止にかかる行動計画が採択されることに希望を表明。アシュトンEU上級代表は、ウクライナにとっての最優先事項は構造改革の継続であるとコメント。

▼27日、プーチン露首相の来訪

・アザーロフ首相は、プーチン露首相と共に第7回ウクライナ・露国家間経済協力委員会会合に出席、二国間貿易高の更なる拡大につき言及。双方は、露の技術による核燃料製造にかかる合意等6つの合意に署名。

▼28日、アリエフ・アゼルバイジャン大統領の来訪

・ヤヌコーヴィチ大統領は、アリエフ・アゼルバイジャン大統領と会談、燃料エネルギー分野を中心とする二国間関係の諸問題につき協議。

・双方は、両国大統領共同宣言、第2回両国大統領会議合議事録及び古文書分野の協力に関する両国外務省間合意に署名。

▼その他

・27～28日、ドゥ・グヒュトEU通商担当委員が来訪、ヤヌコーヴィチ大統領、アザーロフ首相及びグリシチェンコ外相らと会談、深化した包括的FTA交渉は2011年夏以降に終了する見込みと発言。

4 . 防衛

黒海艦隊

・25日、露海軍筋は、2011年～2020年の軍備計画の下、露黒海艦隊艦船はフリゲート艦、ディーゼル潜水艦及び大型揚陸艦を含む計18隻の新型艦船を得る予定であると発言するとともに、海軍航空隊は2016年までにSu-24M爆撃機を近代化バージョンに、Be-12水陸両用航空機をより近代化されたIl-38対潜哨戒機に更新する予定であるとコメント。

武器輸出

・28日、クチェル産業政策省防衛産業担当次官は、ウクライナは2009年の5億5,000万ドル相当以上の大規模な武器輸出契約のもと、11月に最初の11両のBTR-4装甲車をイラクに輸出すると発言。

海賊被害

・23日、ソマリアの海賊が、モンバサから90マイル付近でガス・タンカー「ヨーク」を拿捕。同タンカーはシンガポール船籍で、ドイツ人船長の他ウクライナ人2名とフィリピン人14名が搭乗。

・24日、ソマリアの海賊が、ケニア沖でドイツの貨物船「ベルガ・フォーチュン」を拿捕。同貨物船にはウクライナ人3名を含む16名が搭乗。その後、同船舶は、アトランタ作戦参加者により無事解放。

B . その他の動き

10 / 27 (水)

・アルメニア、ベラルーシ、カザフスタン、ロシア、タジキスタン及びウクライナのCIS6カ国の空軍が参加し、ハイジャック対処演習を実施

10 / 28 (木)

・国防省は、国営企業マルイシェフ工場が2011年9月前に10

両の戦車「オプロート」を納入予定であり、更に同工場で近代化された10両の戦車「プラト」がウクライナ軍に納入されたと発表

(了)